

朝夕の気温と日中の気温の差が15度もある日があり、そのせいで風邪を引いたり、体調を崩している生徒が、少し見られます。

規則的な生活習慣を大切にして、滋養に富んだ食事、十分な睡眠と休養を確保することで、健康に生活できるよう期待しています。そして、短くなったと言われる”秋”の季節を、学校においても家庭においても、みんなで味わい、満喫してほしいと思います。

皆さんにとっての「〇〇の秋」は、何の秋ですか？

さわやか、新人総合大会！

25日（水）26日（木）（26日は卓球競技のみ）の2日間にわたり、耶麻地区新人総合体育大会が開催されました。本校からは卓球部と剣道部が出場し、卓球女子と、剣道女子は団体の正規メンバーの人数に足りない中、それでも全力で戦い、大変充実した成績を収めることができました。

＜卓球競技＞ 男子団体 優勝

＜剣道競技＞ 女子団体 第2位

女子個人 第3位 佐藤 菜央さん（1年）

以上の結果ですが、いつものように、高郷中生全員が一丸となってプレーする姿はとても立派で、見ていてとても好感が持たれました。特に、卓球男子団体戦においては、強豪チームを破り、見事優勝を果たしました。おそらく（はっきりしたデータがないためわかりませんが）高郷中卓球部の歴史において、初めての優勝かと思われます。全員で勝ち取った勝利です。

応援も大きい声でしっかりできるし、マナーやあいさつも中学生らしく、さわやかです。その気持ちをこれからも大切にしていってほしいと思います。

また、3年生が2日間とも、早朝、後輩の見送りと声援に来てくれたこと。これもまた伝統とは言え、心熱くなる思いです。なんと優しく、温かい心なのでしょう。うれしい限りです。

高郷中生の優しさがあふれる2日間の大会でした。卓球も剣道もこの後、会津大会（卓球：10/5、剣道10/12）があります。県大会出場を目標に頑張ってもらいたいと思います。

「がんばれ～！高郷中生！」



『少年の主張福島県大会』最優秀賞！

先週末の9月27日（金）、本宮市のサンライズもとみやを会場として開催された「少年の主張福島県大会」において、本校から出場した石山心南さん（3年生）が、見事「最優秀賞」を受賞しました。これは、去る7月20日、喜多方プラザで行われた喜多方市大会に引き続いての受賞で、素晴らしい快挙です。参加校177校、応募総数14,571名の中の頂点に立つ発表となったわけです。県大会にはそれぞれの地区審査を通過した16名の代表が出演し、石山さんは9番目に発表しました。喜多方市大会も素晴らしかったのですが、今回は更に心のこもった、一つ一つの言葉に力のある発表で、聞いている大勢の人の心を打つ発表でした。もちろん、ここに出場した全ての発表は、各地区の審査を通過してきたものですから、視点も考えも、鋭く深いものです。また、表現力も豊かで、間の取り方や抑揚も上手でした。その中での最優秀賞ですから、その価値は一層高いものと言えます。

この後、石山さんの発表は、東北・北海道ブロックのテープ審査に進み、上位に選ばれれば12月8日に開催される全国大会に出場することになります。これまで指導いただいた井上夏美先生、支えてくださったご家族の方、応援してくださった地域の方々に、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。



食農教室（3年生）！

1. 2年生が新人大会に参加していた9月26日（木）3年生が、食農教室の1時間をとって、サツマイモの収穫を行いました。夏野菜のトマト、キュウリ、スイカが驚くほどの豊作だったので、期待していたところだったのですが、残念ながら、ミニサイズのうらなりばかりでした。でも、少しですが、10月25日の「秋に親しむ会」で焼き芋にして食べられそうなので、その時みんな収穫の喜びを味わいたいと思います。3年生の皆さん、サツマイモ掘り、お疲れ様でした。「掘ったど〜！」



校内授業研究会を行いました！

今、中学校では来年度から本格実施となる「新学習指導要領」のめざす「主体的・対話的で深い学び」の授業改善に努力しているところです。その一環として、去る9月20日（金）、校内授業研究会を実施しました。3年間、継続して指導いただいている福島大学人間発達文化学類准教授の坂本篤史先生を、今回も指導助言者としてお招きし、数学と社会の授業を、教職員全員で参観し、研究会を持ちました。大変有意義な機会となりました。

